

「技術経営学」研究会の企画提案

主査 小平和一郎、副主査 土山真由美

「技術経営学」研究会の企画をいたしましたので提案致します。

1. 提案の背景

「技術経営学」は、モノづくりやコトづくりに関わる経営者にとって重要な知識であるにも関わらず、学問化が遅れています。「経営学」があっても、「技術経営学」は見当たりません。技術経営に「学」をつけた「技術経営学」の学問化に取組みます。学問化とは、社会経験の無い大学生が「技術経営学」を学べば、経営における技術の役割が理解できることに狙いを置いています。時代を超えられる知識の集積化こそ、研究の目指すところです。

『西河「技術経営学」入門』が3月末に出版されるのを契機に、著者の一人の小平が主査として、学会員の皆様と共に同書をベースに学問化の研究に取組みます。同書の著者である西河洋一、小平和一郎、浅野昌宏、杉本晴重が講師になって、課題を提起します。

2. 運営の概要

- (1) **開催期間**：3年間で15回開催する。ただし、15回以降の取り組みは終了時に検討する。
- (2) **開催日と構成**：2カ月に1回（1回2時間）、講演1時間、質疑および報告1時間。火曜日の夕。
- (3) **会場**：日本工業倶楽部内会議室
- (4) **課題提起講師**：西河洋一、小平和一郎、浅野昌宏、杉本晴重
- (5) **研究維持員**：会員からの希望を募り、原則毎回参加し、研究会の一貫性を維持するための固定の研究維持員制とする。研究維持員は、参加費を徴収しない。
従って、3回以上、事情によって参加できない場合は、その資格を失う。
- (6) **参加費**：研究維持員 無料、会員 1,000円、非会員の参加を認めない。
- (7) **協賛団体**：一般財団法人アーネスト育成財団

3. 研究会のテーマ（担当講師）

- 第1回 はじめに・西河技術経営学の特徴と構成（小平）
- 第2回 企業観・技術経営とは何か（小平）
- 第3回 企業観・企業文化とアイデンティティ（小平）
- 第4回 ビジネスモデル・ビジネスモデルづくりを学ぶ（小平）
- 第5回 ビジネスモデル・商品開発の取り組み（杉本）
- 第6回 ビジネスモデル・モノづくりを学ぶ（杉本）
- 第7回 ビジネスモデル・西河技術経営学のルーツを学ぶ（西河）
- 第8回 市場創出・サービスをビジネスにする（小平）
- 第9回 市場創出・ICTを活用した新規ビジネス（小平）
- 第10回 市場創出・海外取引の基礎知識を学ぶ（浅野）
- 第11回 市場創出・エンジニアリング・ブランドづくり（小平）
- 第12回 中長期計画・経営は未来学、中長期計画を立案する（小平）
- 第13回 中長期計画・プロジェクトマネジメントを学ぶ（浅野）
- 第14回 中長期計画・イノベーションを企画する技術経営（小平）
- 第15章 中長期計画・マネジメントとリーダーシップの違い（小平）

4. 研究維持員 募集中（現在、17名登録）

馬場玄式、小平和一郎、土山真由美、山中隆敏、浅野昌宏、杉本晴重、前田光幸、渋谷加津美、木下智雄、小坂哲平、吉池富士夫、瀧川淳、石塚利博、神田智一、望月秀晃、佐藤裕之、大橋克己

以上